

1. 神戸SDGs貢献基金の残高等

			金額（単位:円）	備 考
①	基金総額（前年度末基金残高）		946,016,754	地域環境保全対策費補助金を積み立てた神戸市環境事業基金は令和5年度に神戸SDGs貢献基金に統合したが、本様式では区分経理している旧神戸市環境事業基金分のみについて記載。
	内訳	うち、国費相当額	200,000,000	
		うち、地方負担相当額	746,016,754	
		うち、負担附寄附金等	0	
②	基金運用益		6,406,393	
③	その他収入		49,626,006	
④	負担附寄附金等		0	
⑤	返納額		0	
⑥	基金執行額（処分額）		6,430,856	内訳は下表のとおり
⑦	基金残高		995,618,297	(=①+②+③+④-⑤-⑥)
	内訳	うち、国費相当額	200,000,000	
		うち、地方負担相当額	795,618,297	
		うち、負担附寄附金等	0	

2. 保有割合

	次年度の基金類型	運用型	金額（単位:円）	備考
⑧	基金運用益（次年度見込額）		6,406,393	
⑨	事業費（次年度見込額）		6,000,000	
⑩	保有割合		1.068	= (⑧/⑨)

保有割合の算定根拠□
 運用型：運用益見込額÷事業費（次年度見込額）□
 取崩型：基金残高÷事業費（次年度から終了年度までの見込額）

3. 事業一覧

番号	事業名	合計	事業費		備考	達成度	事業費 (次年度)	事業費 (終了まで)
			一般財源等	基金充当額				
1	生物多様性保全の推進	6,949,443	2,883,337	4,066,106	基金充当額については、地域環境保全対策費補助に係る国費・地方負担額から生じた運用益を使用	46%	6,000,000	18,000,000
2	KOBEゼロカーボン支援補助金	46,093,000	43,728,250	2,364,750	基金充当額については、市の独自積み立て分を使用（国費及び基金運用益の充当なし）			
		0						
合 計		53,042,443	46,611,587	6,430,856			6,000,000	18,000,000

4. 基金事業の目標に対する達成度

成果指標	【定性的目標】 生物が多様で、自然のめぐみが豊かなくらしと社会を目指し、神戸の豊かで身近にある自然環境を守り育て、生物多様性の保全を推進する。	
	【定量的目標】 ① 2027年度までに、市民の生物多様性の保全に関する意識の啓発、行動の喚起を進めるため出前授業、シンポジウム、観察会等に延べ5,000人の市民参加を目指す。 ② 2027年度までに、市と市民との協働による生物多様性の保全活動を推進するため、活動を行う延べ300団体に対して助成を行う。	
	成果実績	①1,926人、②162団体
	目 標 値	①5,000人の市民参加、②300団体に対する助成
達 成 度		46%

令和6年度 事業報告書

事業名	生物多様性保全の推進	新規・継続区分	継続
事項名	生物多様性保全の推進	開始年度	平成30年度
担当部署	神戸市環境局環境企画課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

【定性的目標】

生物が多様で、自然のめぐみが豊かなくらしと社会を目指し、神戸の豊かで身近にある自然環境を守り育て、生物多様性の保全を推進する。

【定量的目標】

- ① 2027年度までに、市民の生物多様性の保全に関する意識の啓発、行動の喚起を進めるため出前授業、シンポジウム、観察会等に延べ5,000人の市民参加を目指す。
- ② 2027年度までに、市と市民との協働による生物多様性の保全活動を推進するため、活動を行う延べ300団体に対して助成を行う。

2. 概要

生物多様性保全に向けた実践活動への支援、及び生物多様性保全についての知識の普及・啓発を行い、生物が多様で、自然のめぐみが豊かなくらしと社会を目指し、神戸の豊かで身近にある自然環境を守り育て、生物多様性の保全を推進する。

3. 根拠法令等

神戸市生物多様性の保全に関する条例

4. 実施内容等

①生物多様性保全活動の助成

「外来生物種及び侵入警戒種の防除活動」、「希少種の保全活動」、「生態系の保全活動」、「生物多様性の普及啓発に関する活動」、「ビオトープの造成・再生」に取り組む団体に対して、その活動に係る経費の一部の助成等を行い、支援する。（29団体、2,353千円）

②「きせつの生き物さがしガイド」の作成及び学校教育と連携した出前授業

市内の小学3年生に「きせつの生き物さがしガイド」を配布する。また「きせつの生き物さがしガイド」を活用して小学校で出前授業を行う。（出前授業16校）

③生物多様性シンポジウム・各種イベントの開催、外来生物展示センターを活用した啓発

生物多様性保全活動に対する市民の理解を深め、保全活動への参加の促進を図るため、生物多様性シンポジウムや各種イベントを開催するとともに、外来生物展示センターにおける見学・体験を通じた啓発を行う。（延べ参加人数1,186人）

（進捗率）

A. 市民参加人数：1,926人（H30:285人、R1:244人、R2:16人、R3:0人、R4:24人、R5:171人、R6:1,186人）／5000人 ＝38.5%

B. 助成団体：162団体（H30:19団体、R1:23団体、R2:17団体、R3:17団体、R4:25団体、R5:32団体、R6:29団体）／300団体 ＝54.0%

計 46%（＝（A+B）÷2）（小数第一位を四捨五入）